

吉野の山里に、南朝の栄華の跡を訊ねて・・・

1334年(元弘4年)1月29日、後醍醐天皇は年号を元弘から建武と改め天皇政治の復建を目指されましたが、公家政権の樹立は容易ではありませんでした。

これを契機に武家と公家の対立が深まり、後醍醐天皇の“南朝” 光明天皇の“北朝” が相対する動乱期、南北朝時代の歴史が幕を開いたのです。

賀名生梅林の近くには、南朝三帝の行宮(あんぐう) となったと伝えられる賀名生皇居跡(堀家住宅)があります。

足利尊氏に追われた後醍醐天皇は、1336年、京都から吉野に皇居を移す途中、賀名生にある堀家に滞在。その後も賀名生は南朝のゆかり深い地となります。

1348年には後村上天皇が、1373年頃には長慶天皇が、

1392年には南朝最後の天皇後亀山天皇もこの行宮に入られました。

ようやく南北朝が合一されたのは、尊氏の孫の足利義満が将軍になってからのことです。

それから六百有余年。

今も賀名生の地は南北朝時代の面影を漂わせ、多くの人々がその足跡を訪ねています。

◆賀名生の里への交通ご案内◆



◆お車の場合◆

<大阪方面から>阪神高速・西名阪自動車道で柏原I.C.経由、国道24号線を南下し国道168号線を新宮方面に約10km。

◆電車・バスの場合◆

JR「天王寺駅」より奈良行に乗車「王寺駅」下車、王寺駅にて和歌山線に乗り換え「五条駅」下車、五条駅より奈良交通バス十津川方面行へ乗車「賀名生和田北回」下車

◆入館料◆

	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生	150円	120円
小中学生	100円	80円

■伝承館使用料は、1時間あたり300円です

◆開館時間◆

午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

◆休館日◆

毎週月曜日と祝祭日の翌日及び年末年始

◆お問い合わせ◆

五條市賀名生の里 歴史民俗資料館
〒637-0117 奈良県五條市西吉野町賀名生5
TEL&FAX 0747-32-9010

あ の う
南朝三帝の歴史とロマンが薫る隠れ郷
賀名生の里 歴史民俗資料館



賀名生皇居跡

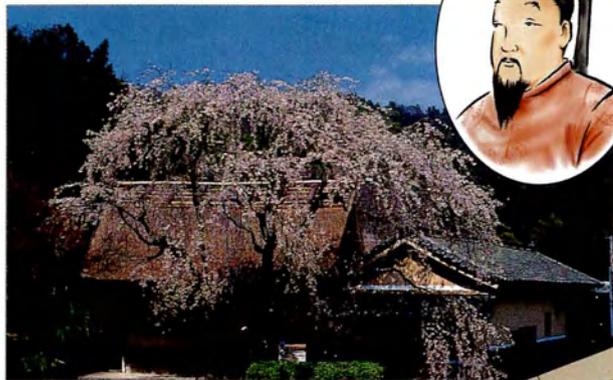
あ の う 賀名生の里 歴史民俗資料館展示案内

賀名生の里歴史民俗資料館は、西吉野の歴史や暮らし、そして観光や史跡散策など様々な情報を提供しています。
また、長い歴史に育まれた民俗文化を通して、山里に生きた人々の知恵や技術、暮らしの形などを見て、楽しみながら理解して頂きたいと思ひます。

97代 後村上天皇 98代 長慶天皇 99代 後龜山天皇



96代 後醍醐天皇



西吉野の春、桜に彩られた賀名生皇居跡



南朝の行宮として、堀家に滞在された3天皇。ここ、賀名生皇居跡をはじめ、黒木御所跡にも、その面影を辿ることができます。



文化教育の研修施設として「伝承館」があります。ここでは、吉野地方の民家を再現した開かれた空間で、歴史教育や文化伝承の活動拠点となっています。

- 情報コーナー：西吉野の文化財や観光などの情報を提供します。パソコンによる検索なども楽しめます。
- 地域の歴史・南朝の歴史：西吉野の歴史を南朝等の歴史資料で紹介します。
- 映像シアター：賀名生皇居跡を舞台とした、天皇と里人の交流で綴る「賀名生行宮物語り」を放映しています。
- 西吉野の暮らしと文化：西吉野に伝承された生活文化と、民俗資料の展示を通して西吉野の「暮らし」を再現しています。

地域の歴史・南朝の歴史



堀家に伝わる南朝の宝物を主体に貴重な歴史資料を展示。
後醍醐天皇縁りの品や、拝領品など西吉野と南朝の深いつながりを感じられる資料が揃っています。
また、明治維新の魁となった天誅組の吉村虎太郎も堀家を訪れ、「皇居」と書いた偏額を残しています。
天誅組関連の貴重な資料も展示されています。



映像シアター



「賀名生行宮物語り」を放映。映像とアニメーションが一体となった臨場感溢れる映像展示です。
賀名生の里を舞台とした天皇と里人とのロマンに満ちた物語りが上映され、歴史を遡るタイムトラベルを楽しんでいただけます。

西吉野の暮らしと文化



農耕・林業など暮らしを支えてきた生活文化の一端を見ていただけます。創意と工夫に満ちた道具類から、華麗な祝いの調度品やアメリカから送られた青い目の人形「バトリ」も展示されています。

情報コーナー



西吉野に関する情報コーナー。観光から歴史散策、季節のイベント情報など、西吉野を楽しむための情報が検索できます。また、歴史関係図書も閲覧することができます。